

▼関東

タイムマシンで遊ぼう！

中村「こずえ(TFM)」

「歌はタイムマシンだ！」

F M東京「歌謡バラエティ」という番組で12年余り「こずえ」一緒に音楽評論家、故「伊藤強」氏の言葉です。

関東民放クラブの「カラオケ同好会」は毎月第3木曜日、15時から18時、赤坂見付の「カラオケ館」で開催しています。「カラオケ館」は新幹線並みの換気とのこと。さらに歌い終わりのマイクはアルコールシートで拭いて次の人に渡す、という自衛策を講じています。

古い演歌を朗々と歌うかたの声に「んん…シブいよねえ」。そのバックの映像の歌手や役者の若い姿に感動。また新曲にチャレンジすれば「エライ!!」「誰の歌?」。そして、それぞれの青春時代の曲ではタイムマシンに乗って「あの時代」に立ち立ちます。

あるとき自分はある仕事をしていたな。アイツとつきあっていたな…。なぜ、あれを言えな

ったのか?なぜ言ってしまったのか…?

本場に「歌はタイムマシン」だと思えます。

歌い終わつての赤坂の夜のビールも美味しいですよ!

声はなかなか年を取りませんが、でも声帯も筋肉。鍛えないと衰えます。年齢を重ねると、女性が高い音、男性は低い音が出てくるようになります。

よろしかったら、第3木曜日、赤坂に、「筋トレ」&タイムマシンに乗りこいらつしゃいませんか?



カラオケ同好会

静岡民放クラブ

30周年プラスワン

小澤 千津子(SBS)

1991年9月18日に関東民放クラブ静岡支部として発足した静岡民放クラブ(現在は、2021年に30周年を迎えました。記念すべき節目の年に相応しいお祝いの会をと計画していましたが、残念ながらコロナ禍で断念せざるを得ませんでした。

ワクチン接種も進み、社会情勢も経済活性化を考慮し、規制も緩やかになってきたことから、2022年10月27日に「静岡民放クラブ30周年プラスワンお祝い会」と銘打ち、開催いたしました。なにぶんにも高齢者がほとんどの集まりなので、感染防止対策を十二分に心しての開催はもちろんです。

当日は29人の会員が参加し、懐かしい顔ぶれと久方ぶりの逢瀬を楽しみました。中には車椅子で駆け付けてくださった古参会員もおられ、一同大感激!

会は松野代表の挨拶に始まり、この日のメイン、31年間の足取りを振り返るスライドの登場で

す。会報のバックナンバー、思い出の写真などを見ながら静岡民放クラブの軌跡を懐かしみ、それぞれの感慨にふけりました。

乾杯で始められた会食は、地元を中心に活躍するユーリック知子さんのジャズヴォーカルとイケメンギタリスト佐々木優樹さんのライブコンサートを楽しみながら、贅沢なランチタイムを味わいました。

11時に開始した会も、あつという間に午後1時をまわつていました。人生百年時代、健康寿命と貢献寿命を延ばしましょうと呼びかけ、今後の会の発展を祈りながら、お開きとなりました。



ジャズを楽しみながらの会食